

令和 3 年度徳島県入札監視委員会第 1 回審査部会 審議概要

開催日時	令和 3 年 7 月 2 8 日 (水) 1 3 : 4 0 ~ 1 4 : 3 0	
開催場所	徳島県 職員会館 第 1、2 会議室	
出席者	委員会 中村委員長, 朝田副委員長, 竹中委員, 孝志委員, 永本委員, 滑川委員 徳島県 木下県土整備部副部長, 村山農林水産基盤整備局長, 小津建設管理課長, 富野副課長, 山名公共入札検査課長, 富樫公共入札 担当室長, 関係各課職員	
審議対象期間	令和 3 年 2 月 1 日 ~ 令和 3 年 4 月 3 0 日	
審議案件	一般競争入札	4 件
	指名競争入札 随意契約	件 件
	合計	4 件

【議 事】

委 員	徳 島 県
審議 1 〈一般競争入札〉 R 2 徳環 徳島東環状線 (着手日指定型)	徳・末広 3 高架橋下部工事 (2) (担い手確保型) 都市計画課
◇今後の発注予定は。 ◇これまでも当該事業区間で橋梁下部工事を発注しており, そのときよりも応札者が増えているのはなぜか。	◆今年度においては, 当該工事の完了後に橋梁上部工の発注を予定している。残りの橋梁下部は予算などの状況をみながら判断する。 ◆これまでの橋梁下部工事と構造物の大きさが異なるため, 発注金額が大きいという違いがあるものの特に変更したところはない。
審議 2 〈一般競争入札〉 R 2 徳土 徳島引田線	藍・徳命 橋梁耐震補強工事 (1) (担い手確保型) 東部県土整備局<徳島>
◇入札参加可能業者数は何者を想定しているか。 ◇炭素繊維シート施工できる業者が県内には 1 者しかいないということか。	◆県内 1 者, 県外 9 者の合計 1 0 者。 ◆プレストレストコンクリート橋梁の修繕実績を入札の参加条件としているため。
審議 3 〈一般競争入札〉 R 3 企総管 吉野川北岸工業用水道	配水ポンプ制御盤取替工事 企業局
◇当該工事のような電気工事は応札者が 1 者になるケースが多いが, なぜ今回は応札者が 3 者であったのか。 ◇制御盤の更新の目安は何かあるのか。	◆当該工事は機器の一部ではなく, ユニットを全面的に更新を行う工事のため, 既設と異なるメーカーでも施工できるため。 ◆制御盤の耐用年数は 1 6 年であるが, これまで消耗部品の交換など適切にメンテナンスを行ってきたが, 設置から 2 4 年目となったため更新を行う。

審議 4 〈一般競争入札〉 R 2 徳土 徳島小松島港（赤石地区） 小・和田島 護岸工事
東部県土整備局〈徳島〉

◇入札参加資格の細かい地域要件はどのように設定しているか。

◆基本的には発注金額、工種及び施工箇所により入札参加が可能となる業者を抽出し、そのすべて業者が参加可能となるよう地域要件を設定している。

◇辞退が多い理由は何か。

◆当該工事が海上施工となること、漁港近くのため施工に時間的制約があること、施工できない期間があることなど、特殊な技術を要することや関係機関との調整が必要となるため工事の内容を精査した結果、応札しなかったとなつたと推察される。